

## 2019年の全数把握対象疾患

2019年までの全数把握対象疾患の届出状況は、表1のようになっている。

### 1. 一類感染症

届出はなかった。

### 2. 二類感染症

結核は283例の届出があり、2018年の232例から増加した。類型は、患者192例、疑似症患者2例、無症状病原体保有者89例であった。患者の病型は、肺結核が150例、その他の結核（結核性胸膜炎、結核性腹膜炎、結核性髄膜炎、リンパ節結核、粟粒結核等）が32例、肺結核及びその他の結核が10例であった。全届出の年齢階層は、0歳5例、1～10歳未満2例、10代2例、20代9例、30代20例、40代16例、50代31例、60代35例、70代68例、80代65例、90代29例、100代1例で、70代の届出が最も多く、70歳以上が全体の57.6%を占めていた（別添1）。

### 3. 三類感染症

腸管出血性大腸菌感染症は23例の届出があり、2018年の26例からわずかに減少した。類型は、患者18例、無症状病原体保有者が5例で、その年齢階層は、1～10歳未満8例、10代2例、20代6例、30代2例、40代3例、70代1例、80代1例であった。なお、HUSの事例はみられなかった。血清型・検出病原体は、O157が17例（VT1&VT2が12例、VT2が5例）、O26が4例（VT1が4例）、O103が1例（VT1が1例）、O18が1例（VT2が1例）であり、全国と同様の検出状況であった。推定感染経路は、経口感染が8例、接触感染が6例、不明が9例であった。経口感染が推定されている事例には、肉類を喫食した記載のある事例が5例あり、その中には牛の生肝や牛肉のたたき、生焼けの肉類等、生肉を喫食した記載のある事例も含まれていた（別添2）。

### 4. 四類感染症

E型肝炎1例、A型肝炎3例、チクングニア熱1例、つつが虫病1例、デング熱4例、日本紅斑熱1例、マラリア1例、レジオネラ症20例、レプトスピラ症1例の届出があった。

E型肝炎は、8月に40代男性から1例の届出があり、生肉の喫食による経口感染が推定感染経路とされている。

A型肝炎は、1月に70代男性と60代女性、6月に80代女性の届出があった。1月に届出のあった2例の推定感染経路は経口感染とされており、推定感染地域はエジプトと記載があった。6月に届出のあった1例については、感染経路は不明とされている。

チクングニア熱は、11月に40代男性から1例の届出があり、推定感染地域はミャンマーとされている。

つつが虫病は、12月に30代女性から1例の届出があった。推定感染地域は奈良県であり、自宅は山手に所在するものの、外出もほとんどないと記載があった。痂皮について、当センターにてウイルス遺伝子検査を実施したところ、Kawasaki (Irie) 型であることがわかった。なお、これは、当センターにおいて遺伝子検査によるツツガムシリケッチア (*Orientia tsutsugamushi*) を検出した

初めての事例となった。

デング熱は、30代男性、50代男性、5歳女性、10代女性の4例届出があり、病型はすべての事例でデング熱型であった。4例とも当センターでウイルス遺伝子検査を実施しており、感染地域がカンボジアとインド(グルガウン)の事例でデング1型、タイ(バンコク)とインド(デリー、ジャイプール、アグラ、ラナーシ)でデング3型が検出されている。

日本紅斑熱は、4月に1例の届出があり、2014年以来の届出となった。70代男性で、発熱・発しん・肝機能異常を呈しており、推定感染地域は、三重県南伊勢とされている。

マラリアは、1月に40代女性から1例の届出があり、病型は熱帯熱であった。感染地域はガーナとされている。

レジオネラ症20例の病型は肺炎型17例、ポンティアック熱型3例であり、男性15例(40代1例、50代4例、60代5例、70代4例、80代1例)、女性5例(40代1例、50代1例、60代1例、80代2例)であった。推定感染経路は水系感染が5例、塵埃感染が2例、水系感染および塵埃感染が1例、不明が12例であった。

レプトスピラ症は、2010年の1例以来の届出である。10月に届出のあった40代男性は、京都の川で下腿を負傷したこと、大阪で沢登りに行ったことが記載されていた。

## 5. 五類感染症

アメーバ赤痢11例、ウイルス性肝炎3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症36例、急性脳炎10例、クロイツフェルト・ヤコブ病4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症10例、後天性免疫不全症候群7例、ジアルジア症2例、侵襲性インフルエンザ菌感染症4例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症23例、水痘(入院例)9例、梅毒74例、播種性クリプトコックス症3例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症4例、百日咳37例、風しん15例、麻しん9例の届出があった。

アメーバ赤痢の病型は、腸管アメーバ症10例、腸管外アメーバ症1例であった。患者は男性10例(30代2例、40代4例、50代2例、60代1例、70代1例)、女性1例(50代)で、推定感染経路は経口感染3例、性的接触(同性間)2例、性的接触(異性間)2例、不明が4例であった。推定感染地域は、奈良県2例、県外1例、国外2例(ブラジル、インドネシア)、不明6例であった。

ウイルス性肝炎3例のうち2例はB型であり、20代男性と40代男性であった。B型肝炎ワクチンの接種歴は無しおよび不明であり、推定感染経路はともに性的接触(異性間)であった。残り1例はサイトメガロウイルスによるものであり、40代女性であった。症状は、肝機能異常の他に皮膚搔痒感の記載もあり、感染原因や経路は不明であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症は、男性15例(10代1例、40代2例、60代1例、70代6例、80代5例)、女性21例(50代1例、60代3例、70代6例、80代8例、90代3例)であり、60代女性のうち1例は発病後4日目に死亡している。また、全国での状況と同様に60歳以上が多く全体の8割以上を占めた。病原体検出部位・菌種としては、血液8例(*Enterobacter aerogenes* 1例、*Enterobacter cloacae* 2例、*Klebsiella pneumoniae* 1例、*Klebsiella aerogenes* 1例、*E. coli* 2例、不明1例)、腹水2例(*Enterobacter aerogenes*、*Enterobacter*

cloacae)、胆汁 1 例(*Enterobacter cloacae*)、血液・尿 2 例(*Serratia marcescens*、*Providencia stuartii*)、喀痰 5 例(*Enterobacter cloacae* 1 例、*Klebsiella pneumoniae* 4 例)、膿 2 例(*E. coli*、*Citrobacter freundii*)、尿 13 例(*Enterobacter aerogenes* 2 例、*Enterobacter cloacae* 1 例、*Serratia marcescens* 1 例、*Klebsiella pneumoniae* 4 例、*E. coli* 3 例、*Morganella morganii* 1 例、*Enterobacter oxytoca* 1 例)、浸出液 1 例(*Enterobacter aerogenes*)、不明 2 例(*Enterobacter ludwigii*、*Klebsiella pneumoniae*)であった。推定感染経路は以前からの保菌が 11 例、院内が 1 例、中心静脈カテーテルからが 2 例、尿路カテーテルからが 7 例、動脈カテーテル(鼠径部)からが 1 例、手術部位(手術手技)が 1 例、その他に穿孔性腹膜炎 1 例、食道癌術後の食道肺癰 1 例、特発性細菌性腹膜炎 1 例、不明 10 例であった。

急性脳炎の届出は、年々増加しており、10 例(1~10 歳未満 6 例、10 代 3 例、60 代 1 例)であった。1 月の届出は 5 例あり、原因病原体は全てインフルエンザで、A 型 4 例、B 型 1 例であった。3 月の届出は 60 代男性であり、病原体は不明であった。7 月の届出は 2 例あり、ともにマイコプラズマが原因病原体であった。12 月の届出は 2 例あり、ともにインフルエンザ A 型が原因病原体であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病は、70 代男性 2 例、70 代女性と 80 代女性 1 例ずつの計 4 例の届出があった。そのうち 3 例の病型は、古典的クロイツフェルト・ヤコブ病であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、男性 4 例(0 歳 1 例、50 代 1 例、60 代 1 例、70 代 1 例)、女性 6 例(40 代 1 例、60 代 2 例、70 代 1 例、80 代 2 例)であり、このうち 80 代女性 1 例については、発病した当日に死亡している。血清群は、A 群 4 例、B 群 3 例、G 群 2 例、不明 1 例であり、推定感染経路は、0 歳男性 1 例が産道感染とされており、その他創傷感染 1 例、腹水感染 1 例、胆のう炎による感染 1 例、不明 6 例であった。

後天性免疫不全症候群は、男性 7 例(17 歳 1 例、30 代 1 例、40 代 2 例、50 代 3 例)であり、病型は 40 代男性 1 例と 50 代男性 1 例で AIDS、その他 5 例は無症候性キャリアであった。AIDS と診断した 2 例の指標疾患は、1 例はニューモシスティス肺炎であり、もう 1 例はニューモシスティス肺炎とカンジダ症であった。推定感染経路は、性行為感染(同性間性的接触) 2 例、性行為感染(同性間性的接触)及び静注薬物使用 1 例、性行為感染(不明) 1 例、輸血 1 例、不明 2 例であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症は、1 月に 30 代女性、5 月に 90 代女性、6 月に 2 歳男児、12 月に 30 代女性の計 4 例の届出があった。また、2 歳男児は、ヒブワクチン接種歴が 4 回と記載されていた。

侵襲性髄膜炎菌感染症 1 例は、1 月に届出のあった 70 代女性であり、感染原因・経路は不明とされている。接触歴はなく、買い物も電話で注文するので外にほとんど出ないとの記載があった。

侵襲性肺炎球菌感染症の届出は 23 例あり、2018 年の 28 例から減少した。男性 16 例、女性 7 例で、0 歳 3 例、1 歳 1 例、10 代 1 例、60 代 3 例、70 代 8 例、80 代 4 例、90 代 3 例であった。ワクチン接種歴は、0 歳 3 例では 3 回、1 歳男児では 4 回終了しており、その他接種歴有りは 3 例、接種歴無しは 6 例、不明 10 例であった。

水痘(入院例に限る)の病型は、臨床診断例4例、検査診断例5例であった。男性8例(1~10歳未満1例、20代1例、30代2例、40代1例、50代3例)、女性1例(10代)であり、ワクチン接種歴は無しが1例、不明が8例であった。推定感染経路は、飛沫・飛沫核感染が2例、接触感染2例、院内感染1例、不明4例であった。

梅毒は2014年より届出数の増加が続いており、2019年には過去10年で最多の74例の届出があった。男性52例(10代1例、20代13例、30代17例、40代8例、50代9例、60代3例、80代1例)、女性22例(10代3例、20代8例、30代7例、40代2例、90代2例)であり、2014年以降、10代からの報告が続いている。女性の届出数は昨年と比べ倍増しており、特に20代~30代での増加が著しく、20代女性のうち2例は、妊娠13週および15週であった。患者の病型は、早期顕症梅毒61例(I期:男性35例、女性5例、II期:男性10例、女性11例)、無症候(無症状病原体保有者)13例(男性7例、女性6例)であり、無症候のうち50代男性1例は、HIV感染症の合併があった。感染経路は性的接触が65例(同性間7例、異性間48例、経口2例、不明8例)、不明9例であり、同性間7例のうち6例は男性であった。また、性風俗産業の従事歴(直近6か月以内)があった事例は5例あり、性風俗産業の利用歴(直近6か月以内)があった事例は18例であった。推定感染地域は、奈良県が26例、奈良県以外(都道府県不明を含む)が25例、不明は23例であった(別添3)。

播種性クリプトコックス症3例は、60代男性、70代男性、40代女性であった。60代男性では、後天性免疫不全症候群によるものとされており、40代女性では髄腔播腫、70代男性では心臓手術後に発症したと記載があった。

破傷風1例は30代男性で、感染原因や経路は不明であり、症状からの臨床決定であった。症状は、筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、その他発汗・発熱と記載されていた。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症は、男性1例(80代)、女性3例(60代2例、80代1例)の計4例の届出があった。病原体検出部位(菌種)としては、血液・便1例(*Enterococcus faecium*)、腹水1例(*Enterococcus faecium*)、胆汁1例(不明)、尿1例(*Enterococcus faecium*)であった。いずれも耐性遺伝子の検索は実施されていなかった。感染原因・経路は、接触感染1例、尿路感染1例、不明1例あり、その他進行がんによる小腸切除により少量の腸液が漏出し、腹水に感染したものと考えられる旨の記載があった。

百日咳は、2018年より全数把握対象に変更にされた疾患であり、男性16例(6ヶ月未満1例、1~5歳未満1例、5~10歳未満3例、10代4例、20代1例、40代1例、50代2例、60代2例、70代1例)、女性21例(6ヶ月未満3例、1~5歳未満1例、5~10歳未満2例、10代5例、30代1例、40代2例、50代2例、60代2例、70代3例)であった。届出数は昨年の56例より減少したが、小児だけでなく幅広い年齢層から届出があり、2019年では60代以降からの届出もみられた。感染経路は家族内感染(母親)1例、家族内感染(父親)1例、家族内感染(同胞)6例、家族内感染(不明)4例、職場にて1例、友人から1例、その他学校での流行が2例、職場での流行1例、地域での流行が2例、不明が18例あった。ワクチン接種歴は、1歳~20歳未満では16例中9例で4回接種、1例は1歳のため3回接種までの記載があり、4例は未接種、2例は不明であった。成人では、17例中2例で4回接種、15例は不明であった。

風しんの届出は15例あり、2018年の夏頃から流行がはじまり、2019年も報告数は増加した。なお、15例の報告のうち、12例は1～3月に届出があった。患者は、男性12例(10代1例、20代1例、30代2例、40代3例、50代3例、60代2例)、女性3例(10代1例、20代2例)であり、全国状況と同様、男性からの届出、特に40～50代からの届出が多かった。ワクチン接種歴は、20代男女各1例では1回接種歴有り、10代女性1例では2回接種歴有り、その他については無しまたは不明であった。推定感染経路は、飛沫感染3例、その他12例は不明であった。推定感染地域は、奈良県3例、県外(都道府県不明含む)5例、中華人民共和国1例、不明6例であった。また、検査診断例は13例あり、当センターでウイルス遺伝子検査が実施された12例中7例からは全国的に検出されている1E型が検出されている。なお、残りの5例については風しんウイルスが検出されず、発疹出現後、遺伝子検査検体採取までの日数が約1週間以上経過していた。

麻疹は、全数把握対象疾患となった2008年では12例の届出があり、それ以降は0～3例の届出であったが、2019年では9例の報告があり、2009年以降で最多となった。男性6例(1～5歳未満2例、20代1例、30代2例、40代1例)、女性3例(10代1例、20代1例、30代1例)であり、病型は麻疹(検査診断例)4例、修飾麻疹(検査診断例)5例であった。ワクチン接種歴は、1～5歳未満の2例および30代男女各1例で1回接種、20代男性で2回接種、その他については無しまたは不明であった。病型別のワクチン接種歴は、麻疹4例中2例で1回接種、残り2例は無しまたは不明であり、修飾麻疹5例中1例で2回接種、2例で1回接種、残り2例は無しまたは不明であった。患者推定感染経路は、飛沫感染2例、接触感染1例、その他(国外からの持ち込み)1例、不明5例であった。推定感染地域は、奈良県3例、県外(都道府県不明含む)3例、国外2例(タイ、ミャンマー)、不明1例であった。また、全例について、当センターでウイルス遺伝子検査が実施されており、6例から全国的に検出されているD8型が検出されている。

表1 全数把握対象疾患報告状況

	疾患名	調査年		平成20年(2008年)		平成21年(2009年)		平成22年(2010年)		平成23年(2011年)		平成24年(2012年)		平成25年(2013年)	
		全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
一類	エボラ出血熱														
	クリミア・コンゴ出血熱														
	痘そう														
	南米出血熱														
	ペスト														
	マールブルグ病														
二類	ラッサ熱														
	急性灰白髄炎		2				2		1					1	
	結核	28,419	372	26,996	371	26,866	287	31,483	361	29,317	424	27,052	343		
	ジフテリア														
	重症急性呼吸器症候群														
	中東呼吸器症候群														
	鳥インフルエンザ(H5N1)														
鳥インフルエンザ(H7N9)															
三類	コレラ	45		16		11		12		3		4			
	細菌性赤痢	320		181	2	235	2	300		214	5	143	1		
	腸管出血性大腸菌感染症	4,322	38	3,889	50	4,134	53	3,940	24	3,768	17	4,044	30		
	腸チフス	57	1	29		32	1	21		36		65			
	パラチフス	27		27		21		23		24		50			
四類	E型肝炎	43		56		66		61		121		127			
	ウエストナイル熱														
	A型肝炎	170	3	115	1	347	2	176		157		128			
	エキノコックス症	22		27		17		20		17		20			
	黄熱														
	オウム病	9		21	1	11		12		8		6			
	オムスク出血熱														
	回帰熱					1	1			1		1			
	キャサスル森林病														
	Q熱	3		2		2		1		1		6			
	狂犬病														
	コクシジオイデス症	2		2		1		2		2		4			
	サル痘														
	ジカウイルス感染症														
	重症熱性血小板減少症候群												48		
	腎症候性出血熱														
	西部ウマ脳炎														
	ダニ媒介脳炎														
	炭疽														
	チクングニア熱								10		10		14	1	
	つつが虫病	442		465		407	2	462		436	1	344			
	デング熱	104		93		244	4	113		221	5	249	2		
	東部ウマ脳炎														
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)														
	ニパウイルス感染症														
	日本紅斑熱	132		132		132		190		171		175			
	日本脳炎	3		3		4		9		2		9			
	ハンタウイルス肺症候群														
	Bウイルス病														
	鼻疽														
	ブルセラ症	4		2		2		2				2			
	ベネズエラウマ脳炎														
ヘンドラウイルス感染症															
発しんチフス															
ポツリス症	2				1		6		3						
マラリア	56		56		73		78		72	1	47	2			
野兎病	5														
ライム病	5		9		11		9		12		20	1			
リッサウイルス感染症															
リフトバレー熱															
類鼻疽					4		3				4				
レジオネラ症	893	5	717	4	751	1	818	9	899	8	1,124	12			
レプトスピラ症	42		16		22	1	26		30		29				
ロッキー山紅斑熱															
五類	アメーバ赤痢	872	11	786	9	843	11	814	11	932	6	1,047	8		
	ウイルス性肝炎	179		178		174	1	200		186		236	2		
	B型肝炎	53	2	40	1	39		36		38	1	30			
	C型肝炎														
	D型肝炎	9	1	5		7		14		12		20			
	不明					1									
	(再掲:合計)	241	3	223	1	221	1	250		236	1	286	2		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症														
	急性弛緩性麻痺														
	急性脳炎	190		526	1	242	1	258		371		369			
	クリプトスポリジウム症	10		17		16		8		6		25			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	152	2	142		172	3	138	1	185	3	203	8		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	113		103	4	122		197	1	242	1	203	1		
	後天性免疫不全症候群	1,568	4	1,446	13	1,553	16	1,535	12	1,438	11	1,586	8		
	ジアルジア症	76		70	1	77		65	1	72		82	1		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症											108			
	侵襲性髄膜炎菌感染症											23			
	侵襲性肺炎球菌感染症											1,001	9		
	水痘(入院例)														
	先天性風しん症候群			2				1		4		32			
	梅毒	839	1	691	2	621	3	827	6	875	6	1,228	6		
	播種性クリプトコックス症														
	破傷風	123		113		106		118		118		128	2		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	80		116		120	1	73		91		55			
	百日咳														
	風しん	303	2	147	2	87		378	1	2,386	18	14,344	180		
麻疹	11,015	12	732	3	447	3	439	2	283		229				
薬剤耐性アシネトバクター感染症															
髄膜炎菌性髄膜炎	10		10		7		12		15	1	2				
新型インフルエンザ等	新型インフルエンザ(A/H1N1)			12,654	305										

表1 全数把握対象疾患報告状況

疾患名	調査年	平成26年(2014年)		平成27年(2015年)		平成28年(2016年)		平成29年(2017年)		平成30年(2018年)		平成31年・令和元年(2019年)	
		全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
一類	エボラ出血熱												
	クリミア・コンゴ出血熱												
	痘そう												
	南米出血熱												
	ペスト												
	マールブルグ病												
二類	ラッサ熱												
	急性灰白髄炎												
	結核	26,629	300	24,523	305	24,669	266	23,427	285	22,448	232	21,675	283
	ジフテリア												
	重症急性呼吸器症候群												
	中東呼吸器症候群												
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)												
	鳥インフルエンザ(H7N9)												
	コレラ	5		7		9		7		4		5	
	細菌性赤痢	158		156	1	121	2	141		268	1	140	
	腸管出血性大腸菌感染症	4,151	23	3,573	27	3,647	23	3,904	21	3,854	26	3,741	23
	腸チフス	53	2	37	1	52		37		35		37	
四類	バラチフス	16		32	1	20		14		23		21	
	E型肝炎	154		212	2	356	2	305	1	446		493	1
	ウエストナイル熱												
	A型肝炎	433	8	243	2	272	3	285	1	926	7	425	3
	エキノコックス症	28		25		27		30		19		24	
	黄熱												
四類	オウム病	8		5		6		13		6		13	
	オムスク出血熱												
	回帰熱	1		4		7		8		6		7	
	キャサヌル森林病												
	Q熱	1								3		2	
	狂犬病												
	コクシジオイデス症	2		3		3		4		2		2	
	サル痘												
	ジカウイルス感染症					12		5				3	
	重症熱性血小板減少症候群	61		60		60		90		77		101	
	腎症候性出血熱												
	西部ウマ脳炎												
	ダニ媒介脳炎					1		2		1			
	炭疽												
	チクングニア熱	16	1	17		14		5		4		49	1
	つつが虫病	320		422		505		447	1	456		404	1
	デング熱	341	3	293	4	342	5	245	4	201	2	461	4
	東部ウマ脳炎												
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)												
	ニパウイルス感染症												
	日本紅斑熱	241	1	215		277		337		305		318	1
	日本脳炎	2		2	1	11		3				9	
	ハンタウイルス肺症候群												
	Bウイルス病												2
鼻疽													
ブルセラ症	10		5		2		2		3		2		
ベネズエラウマ脳炎							2						
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症	1		1		5	1	4		2		3		
マラリア	60	1	40	2	54		61		50		57	1	
野兎病	1		2										
ライム病	17		9		8		19		13		17		
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽			1				1		2		2		
レジオネラ症	1,248	11	1,592	8	1,602	10	1,733	18	2,142	19	2,314	20	
レプトスピラ症	48		33		76		46		32		32	1	
ロッキー山紅斑熱													
五類	アメーバ赤痢	1,134	15	1,109	18	1,151	11	1,089	9	843	9	851	11
	ウイルス性肝炎	188	1	206	2	228	1	241	1	214	1	256	2
	B型肝炎	27		35		35		31		29		31	
	C型肝炎	11		14		17		22		33		43	1
	不明肝炎									1			
	(再掲:合計)	226	1	255	2	280	1	295	1	277	1	330	3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	314	5	1,671	28	1,573	22	1,660	27	2,289	45	2,333	36
	急性弛緩性麻痺									141	1	77	
	急性脳炎	459	3	511	4	763	4	702	5	679	7	959	10
	クリプトスポリジウム症	98		15		14		19		25		19	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	177		192	2	175	3	200	3	221	2	193	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	268	2	415	2	494	5	587	10	694	16	926	10
	後天性免疫不全症候群	1,538	14	1,431	14	1,443	3	1,395	7	1,301	6	1,233	7
	ジアルジア症	68		81		71	1	60	1	68		53	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	200	2	252	3	312	6	372	3	488	4	543	4
	侵襲性髄膜炎菌感染症	37		34	1	43	1	25		37	1	48	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	1,825	20	2,403	21	2,735	23	3,205	40	3,328	28	3,342	23
	水痘(入院例)	143	5	313	6	318	3	312	5	466	5	492	9
	先天性風しん症候群	9										4	
	梅毒	1,661	16	2,690	19	4,575	36	5,826	29	7,007	53	6,639	74
	播種性クリプトコックス症	37		120		137	1	137	2	182	2	156	3
	破傷風	126	1	120		129	3	125	2	134	1	126	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症												
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	56		66	1	61	5	83		80	7	80	4	
百日咳									12,115	56	16,846	37	
風しん	319	5	163	1	126		91	2	2,941	10	2,306	15	
麻疹	462	1	35	1	165	3	186	1	279		746	9	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	15		38		33		28		24		24		
髄膜炎菌性髄膜炎													
新型インフルエンザ等	新型インフルエンザ(A/H1N1)												

ゼロ値は表示していない

結核

(別添1)

図-1 過去からの週別届出数の推移

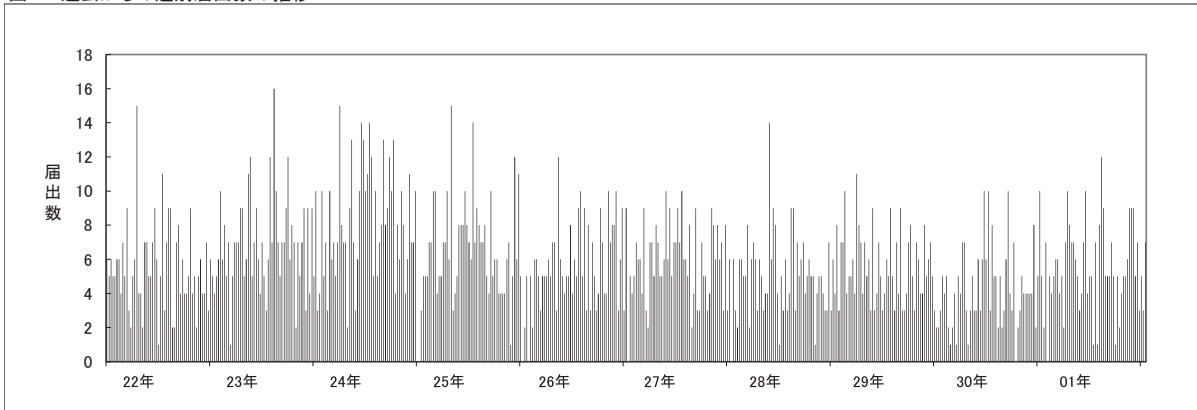


図-2 過去からの届出数の推移

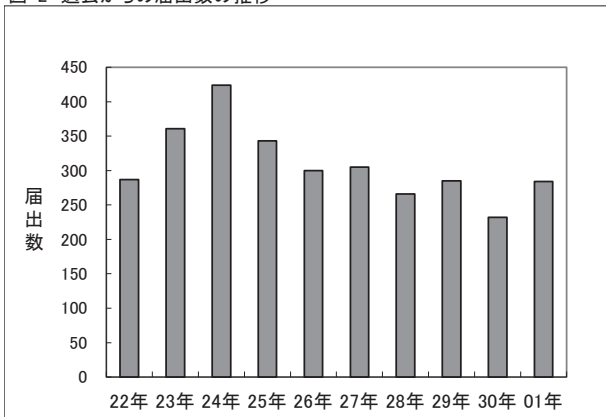


図-5 週別届出数

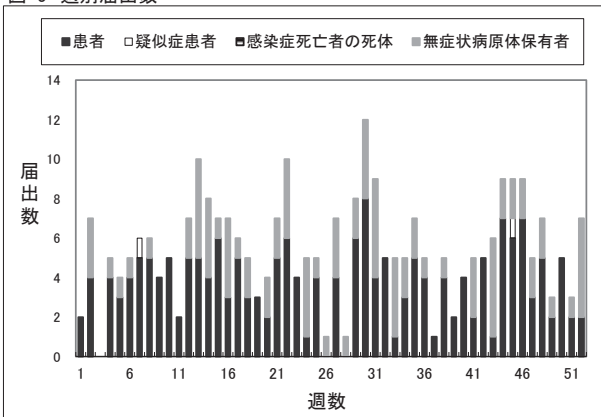


図-3 年齢別届出数

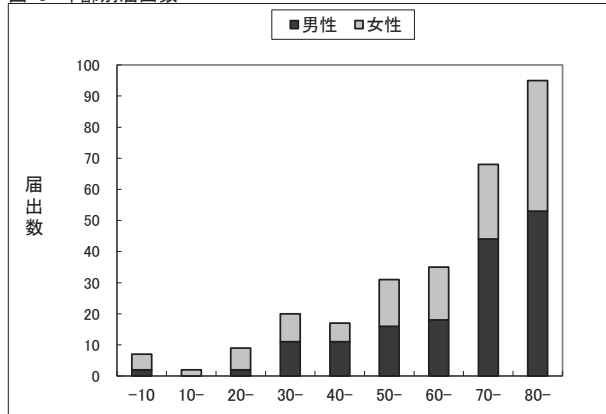


図-6 病型別

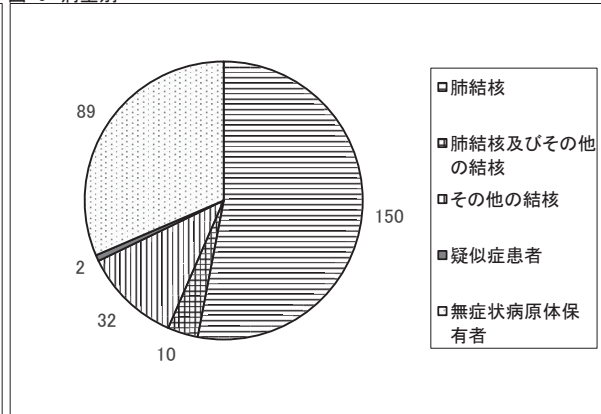
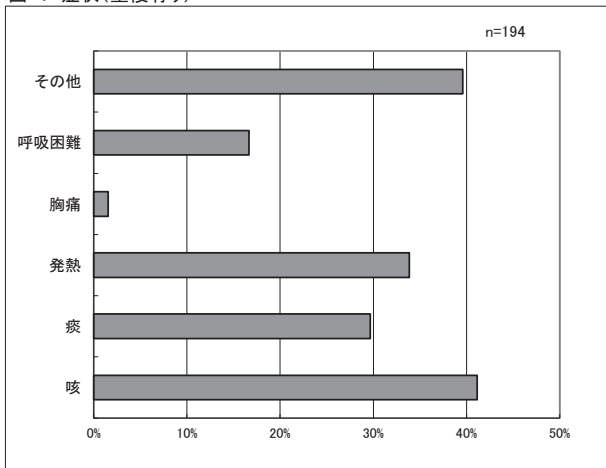


図-4 症状(重複有り)



その他

感染地域(推定含む)  
 県内:124例  
 県外:45例 (国内不明含む)  
 海外:3例



# 腸管出血性大腸菌感染症

(別添2)

図-1 過去からの週別届出数の推移

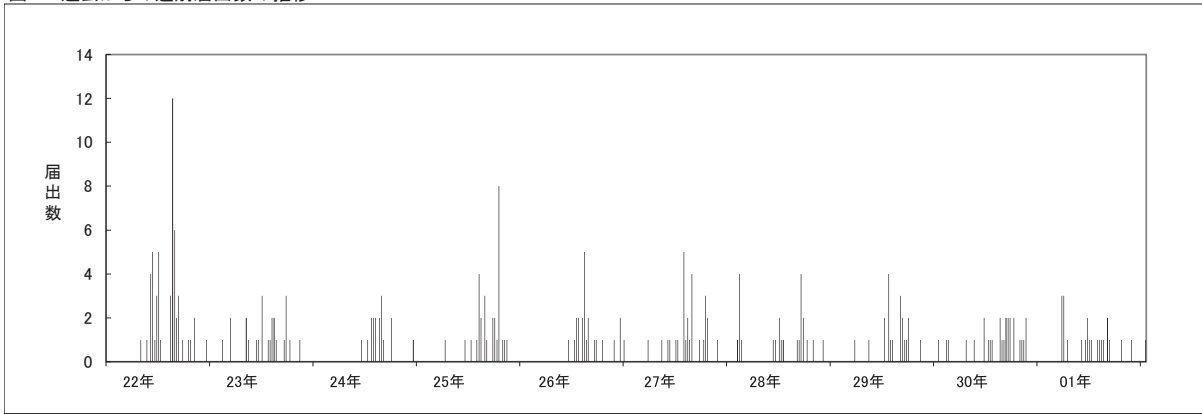


図-2 過去からの届出数の推移

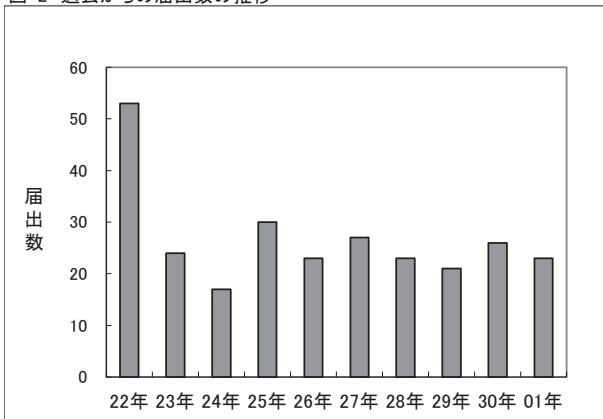


図-5 週別届出数

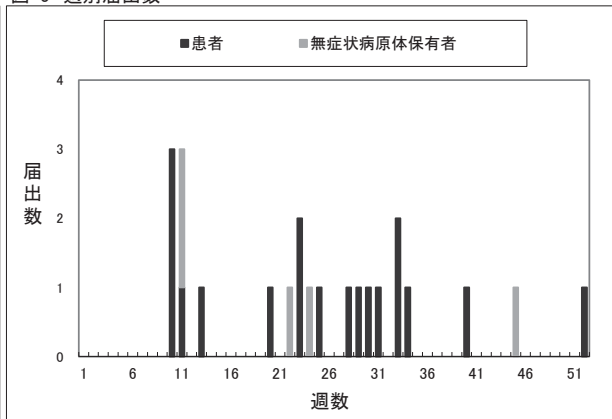


図-3 年齢別届出数

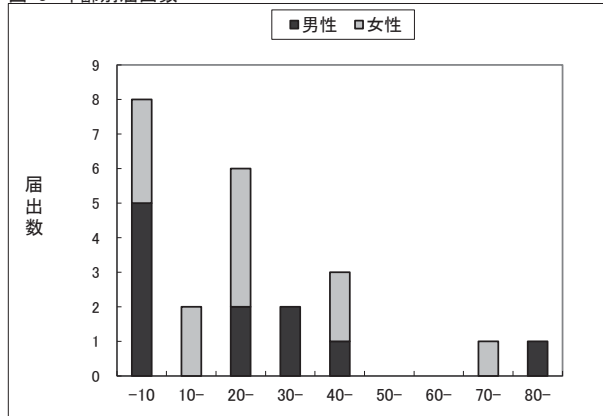


図-6 病型別

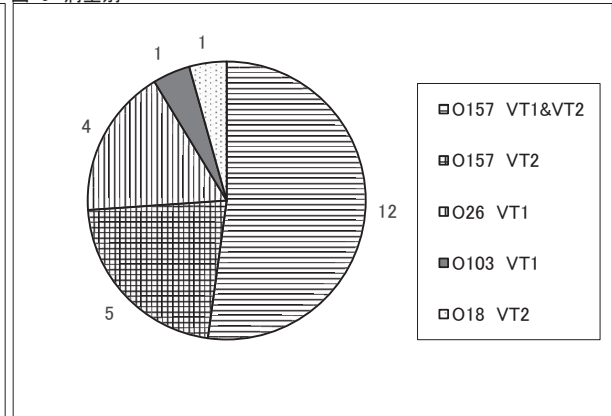
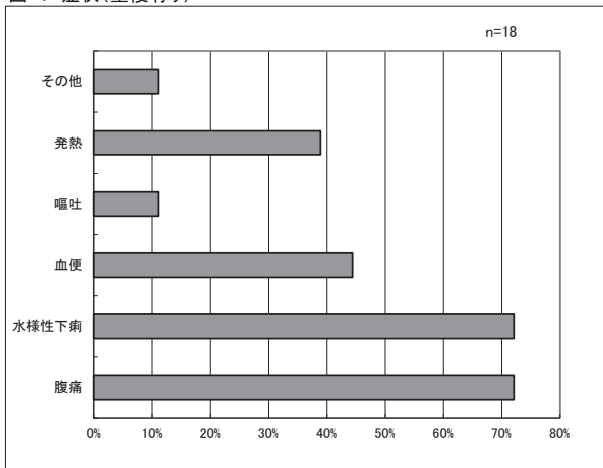


図-4 症状(重複有り)



## その他

感染地域(推定含む)  
 県内:10例  
 県外:4例 (国内不明含む)  
 海外:1例

感染経路(推定含む)  
 経口感染:8例  
 うち5例に肉類(生肉等)の記載あり  
 接触感染:6例  
 不明:9例

その他の症状:軟便

梅毒

(別添3)

図-1 過去からの週別届出数の推移

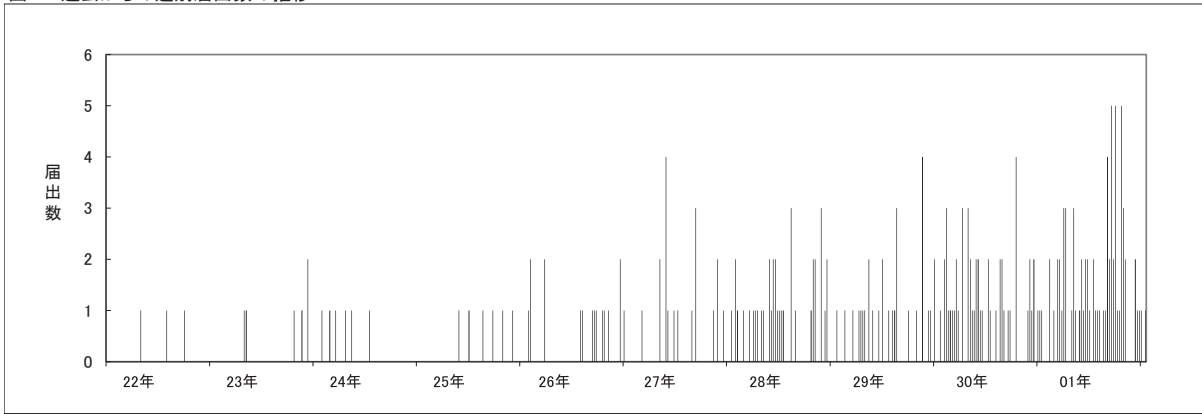


図-2 過去からの届出数の推移

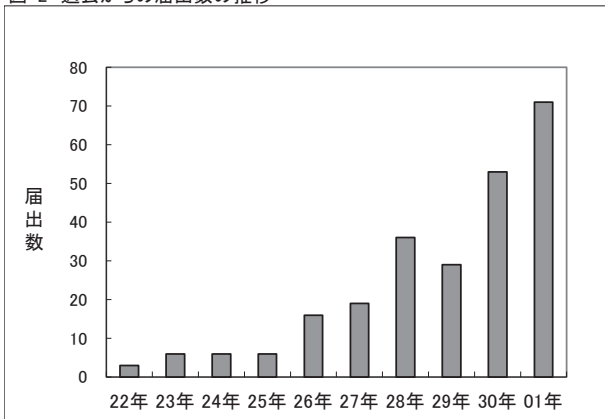


図-5 週別届出数

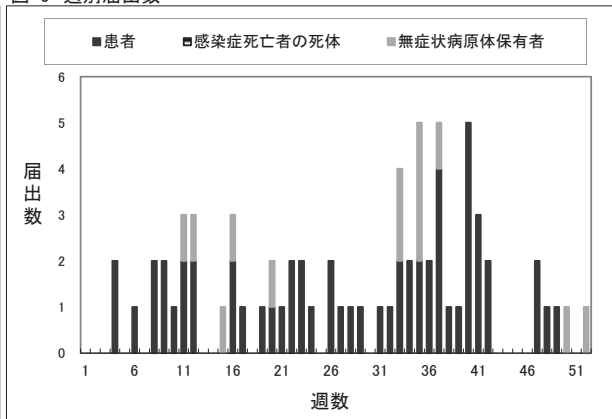


図-3 年齢別届出数

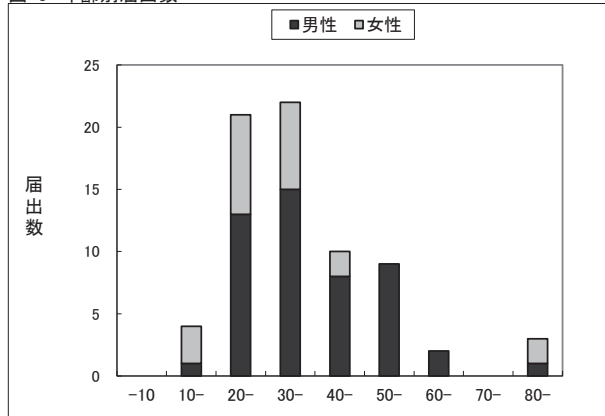


図-6 年齢群別の届出数の推移

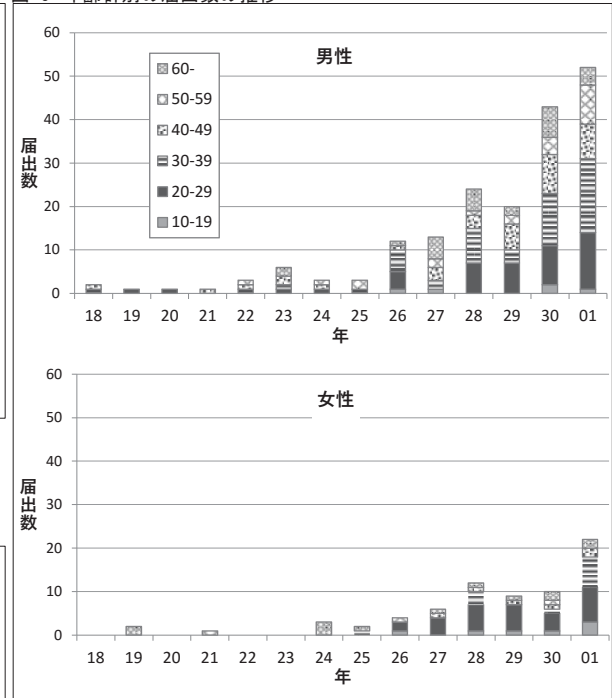
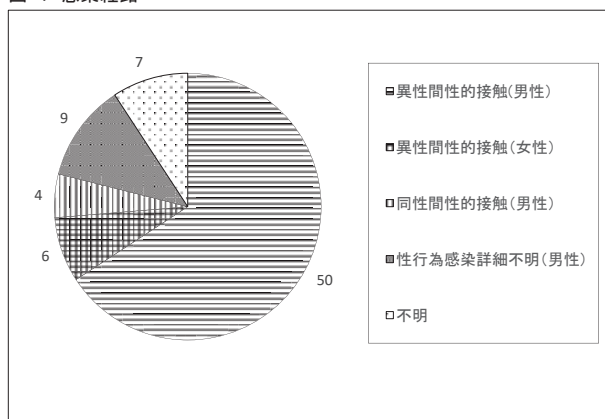


図-4 感染経路



その他

感染地域(推定含む)  
 県内: 26例  
 県外: 25例 (国内不明含む)  
 不明: 23例